



<はじめに>

第1章

まちだ未来づくりビジョン2040が
はじまります

1

策定の趣旨

日本全体の人口は、2008年の1億2,808万人をピークに減少局面に移行し、町田市の人口も1958年の市制施行以来、一貫して増加を続けていたものが、2018年に初めて減少に転じました。

2040年には団塊ジュニア世代^{*}が65歳以上の高齢者となり、2004年に約16%だった高齢者人口の割合は約36%¹にまで増加することが見込まれています。対して、約70%だった生産年齢人口^{*}の割合は約54%にまで減少するという推計が出ています。

一方、近年のAI^{*}(人工知能)やICT^{*}(情報通信技術)などの急速な進展は、より多様で柔軟な働き方ができる社会を実現させていっています。また、世の中の消費動向が“モノ”から“コト”へと転換、さらには時間や目的の共有を重視する方向へシフトするなど、私たちの生活は変革の時を迎えています。

町田市では、このような社会経済状況や人々のライフスタイルの変化を大きなチャンスと捉え、誰もが夢を描くことができ、幸せを感じられる未来をつくるために、「まちだ未来づくりビジョン2040」を策定します。

2

位置付け

「まちだ未来づくりビジョン2040」は、市民、地域団体、事業者など町田市に関わるすべての人々が、共に実現を目指していくビジョンとし、その実現に協力していただける人から新たに関わりを持っていただける人まで、多くの人を惹きつける魅力的なビジョンとして策定します。

そして、町田市におけるまちづくりの基本指針を示すとともに、市政運営の基本となるビジョンとして位置付けます。

¹ P.38 グラフ「町田市における将来人口の推計結果」を参照



構成

(1)構成

「まちだ未来づくりビジョン2040」は、基本構想部分を担う「2040なりたい未来」と基本計画部分を担う「まちづくり基本目標」及び「経営基本方針」で構成されます。

また、ビジョンの実現に向けて、具体的な事業と取り組みを示す実行計画を策定します。

①2040なりたい未来

まちづくりの方向性、行政経営の方向性を明らかにし、方向性に沿って進んでいった未来の姿を「なりたいまちの姿」（都市像）、「行政経営の姿」（経営像）として掲げます。

②まちづくり基本目標

「2040なりたい未来」で掲げた、なりたいまちの姿を実現するための目標を政策・施策として体系的に示します。

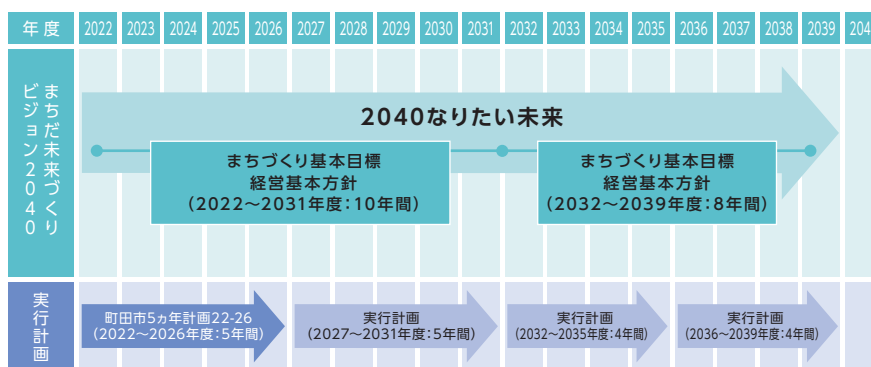
③経営基本方針

「2040なりたい未来」で掲げた、行政経営の姿を実現するための方針を体系的に示し、「まちづくり基本目標」を支えます。



(2)期間

基本構想部分を担う「2040なりたい未来」は、2022年度から2039年度までの18年間、基本計画部分を担う「まちづくり基本目標」及び「経営基本方針」は、2022年度から2031年度までの10年間と、2032年度から2039年度までの8年間とします。



4

2040なりたい未来の構成

これまでの町田市のまちづくりは、暮らす人、働く人、訪れる人など、多くの「人」によって支えられてきました。そして、それはこれからも変わらないことであり、多様であることが当たり前の社会においては、一人ひとり生き方の違う「人」が、それぞれのライフステージにおいて活躍できる環境があることがより重要になってきます。

このことを踏まえ、「2040なりたい未来」では、誰もが夢を持ち、その夢を実現できるまち、一人ひとりが輝けるまちとなるため、町田市のまちづくりの方向性となりたいまちの姿、そして、行政経営の方向性と行政経営の姿を明らかにするとともに、2040年の未来の町田市のイメージをキャッチコピーとして定めま

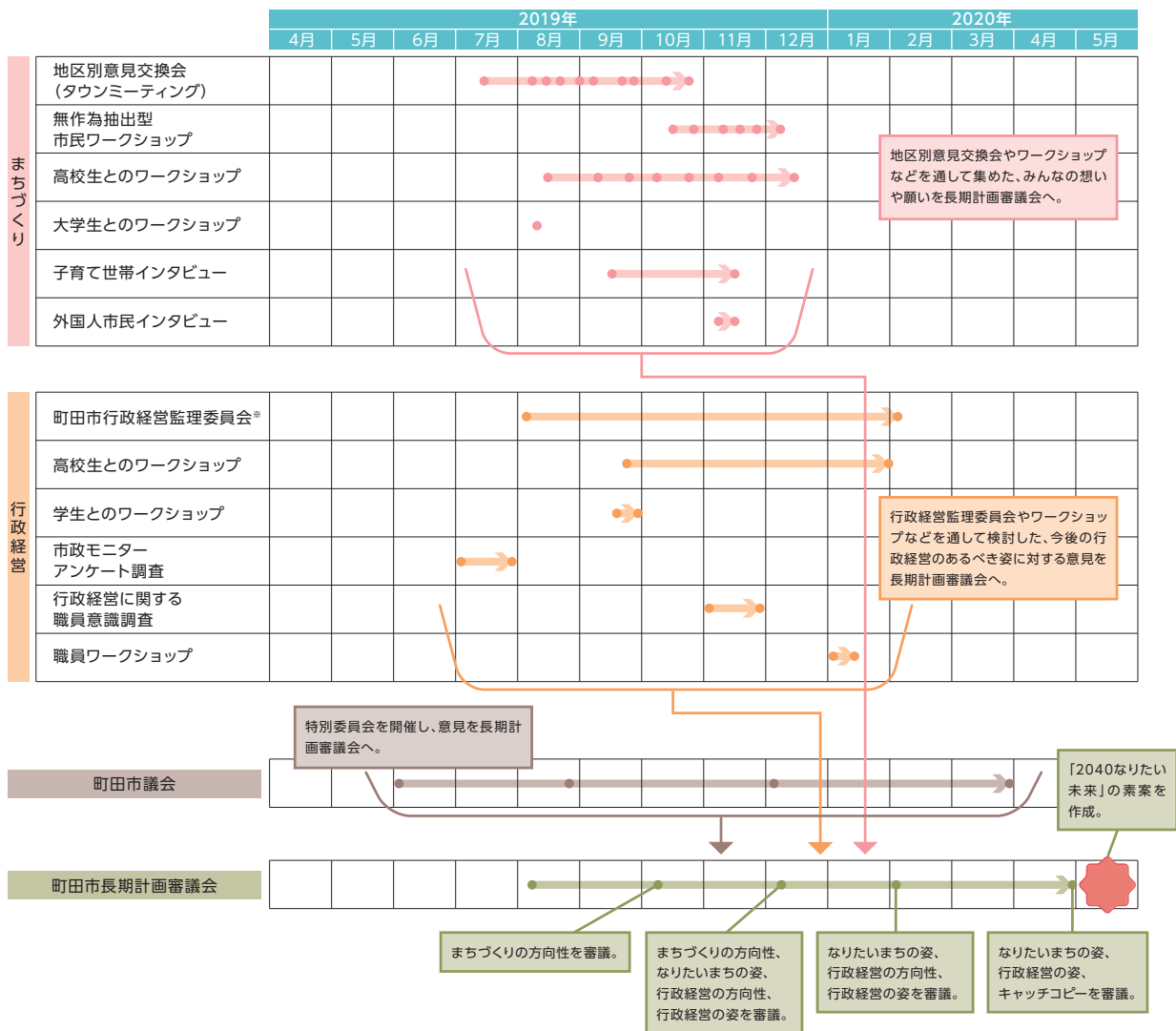




2040なりたい未来の 策定過程

(1)策定スケジュール

「2040なりたい未来」の策定にあたっては、地区別意見交換会(タウンミーティング)・ワークショップなどでの意見、町田市議会や町田市行政経営監理委員会からの意見を踏まえ、町田市長期計画審議会で素案を取りまとめました。



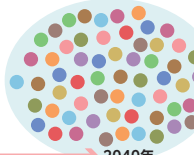
(2) 検討の過程

まちづくりの方向性やなりたいまちの姿、行政経営の方向性や行政経営の姿については、以下のような過程を経て作成しました。

【まちづくり】

1 町田市のよい点・悪い点・改善点や2040年までに必要な環境などについて意見交換

みんなの想い・願い



〈検討の場〉

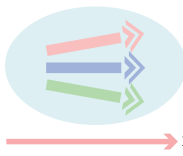
- ① 地区別意見交換会 (タウンミーティング)
- ② 大学生とのワークショップ
- ③ 高校生とのワークショップ
- ④ 子育て世帯インタビュー
- ⑤ 外国人市民インタビュー
- ⑥ 市民意識調査

2040年

2040年の未来になってほしい町田市の姿をつくるため、地域にお住まいの皆さんとの意見交換会などを開催しました。

2 まちづくりの方向性を審議

まちづくりの方向性



2040年

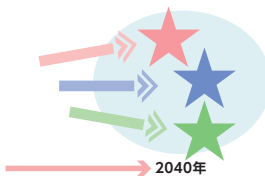
〈検討の場〉

- ① 第2回長期計画審議会
- ② 第3回長期計画審議会

1でいただいた意見を基に、まちづくりの方向性を作成しました。

3 なりたいまちの姿を検討・審議

なりたいまちの姿



2040年

〈検討の場〉

- ① 高校生とのワークショップ
- ② 無作為抽出型市民ワークショップ
- ③ 第3回長期計画審議会
- ④ 第4回長期計画審議会

2でまとめた「まちづくりの方向性」を基に、2040年に向けた町田市のなりたいまちの姿を作成しました。

【行政経営】

1 町田市を取り巻く行政経営の主な現状と課題や2040年にかけて起こる変化・課題を整理

今後の行政経営のあるべき姿



〈検討の場〉

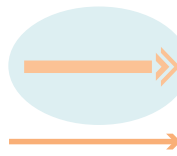
- ① 行政経営監理委員会
- ② 学生とのワークショップ
- ③ 市政モニターアンケート調査
- ④ 行政経営に関する職員意識調査
- ⑤ 職員ワークショップ

2040年

2040年を見据えた今後の行政経営について有識者などから3つの重要な視点をいただくとともに、学生や市政モニターの皆さんから意見をいただきました。

2 行政経営の方向性を審議

行政経営の方向性



2040年

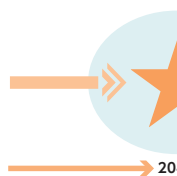
〈検討の場〉

- ① 第3回長期計画審議会
- ② 第4回長期計画審議会

1でまとめた「2040年を見据えた今後の行政経営に対する3つの重要な視点」を基に、行政経営の方向性を作成しました。

3 行政経営の姿を検討・審議

行政経営の姿



2040年

〈検討の場〉

- ① 高校生とのワークショップ
- ② 無作為抽出型市民ワークショップ
- ③ 職員ワークショップ
- ④ 第3回長期計画審議会
- ⑤ 第4回長期計画審議会
- ⑥ 第5回長期計画審議会

2でまとめた「行政経営の方向性」を基に、2040年に向けた町田市の行政経営の姿を作成しました。

4 2040年の町田市のイメージを作成



2040年

〈検討の場〉

- ① 第5回長期計画審議会
- ② キャッチコピーの市民投票

まちづくりの方向性となりたいまちの姿、行政経営の方向性と行政経営の姿から表される、未来の町田市のイメージをキャッチコピーとして作成しました。

※  は各段階における主な検討対象